

寮史(サイズA4 124ページ)

注意:寮史の内容を提示するため、写真を抜粋して集約(密着)したレイアウトです。実物は別別にレイアウトしています。



第十二代目 中曽根 庸弘

私は東大の学生の頃から、拓大の存在はいつも頭の一角にあった。学風がまろり通うが、東大に欠けているものが拓大にはあったという認識からだろう。言い換えれば、国家や共同体への認識度が一般大学と異なるものがあつたのかも知れない。明治三十年の建学からの歴史と歴代館長の個性が他の大学と異なるものがあつたからであろう。

拓大は、国家意識の基礎に人間主義や自由主義が成熟と機軸となっており、この大学の歴史と伝統と建学の精神が、今の日本の大学に欠けている気風と質性の復活に役立つと認識していた。

その後、縁があつても館長に就任したが、館長の個性をもつて学生の教養形成の一部に役立つ若干手掛けた。しかし、それが成功したとは思わない。学生生活の中で寮生活と運動部生活は大事な要素だ。拓大精神は双方に深く存在する。寮ではまた自由と自治が養われる。

世界情勢が経済の不況、米国の不振等で混沌としている現在、拓大には歴史的・伝統的に、また現在から未来にわたって存在理由を明確にする貴重なチャンスが訪れつつある。教授陣の研鑽と学生諸君の開拓への勇気の蓄積と発揚を期待してやまない。

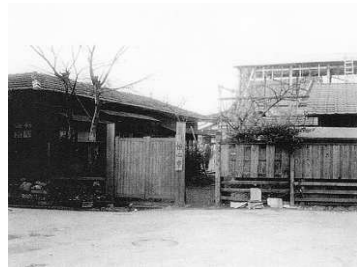


第一期~第八期 矢野 公威

昭和34年に開設された「恒心寮」は、学生の生活を経済的に応援したいとの目的から開寮になったわけであるが、その理念は一般社会に適用する良識ある学生の教育機関を学内に作ることにあつた。そのため既存寮(恒華寮)の専任中野秀春(学4)を寮長に、菅沼先生を顧問に迎えた。設立当初は入寮希望学生の人数など苦労もあつたが、各代寮長中野先生が誠によく設立の意を整理して寮生学生の指導にあたり、またこの教養を受け継いで忠実に実践した。2代目寮長友田先生の寮生への指導にも真摯で理想とする学生寮が誕生した。そして高専寮で学んでいた青山阿夫先生に恒心寮に移っていただき、教育の元祖のような青山先生も「この寮は大学の人間形成の場として最高の場所だ」と絶賛しておられた。

茗荷谷駅近くの久保町で産声をあげたこの「恒心寮」は当初30名程の船出であつたが、6年後には200名の寮生を擁するに至り、練馬区高松町に移すことになりました。

開寮から10年あまり恒心寮と関わり続けましたが、当初希望していた学園の場を超えて当学生寮が、研鑽し得る場所で一時期を過ごし社会人を送り出すことができたことを思うと、随所で歴史に誇り高く活躍しておられる元寮生を思う時、誠に幸せで嬉しく思っています。



文京区 久堅町寮



練馬区 高松寮

期生	昭和(西暦) 就任	寮長	学 4
1期	昭和34年(1959) 58期	矢野 公威	学 3 中野 秀春(寮長)
2期	昭和35年(1960) 59期	矢野 公威	中野 秀春(寮長)
3期	昭和36年(1961) 60期	矢野 公威	高田 幸生(寮長)
4期	昭和37年(1962) 61期	矢野 公威	毛利 雅一(寮長) 堀塚 秀則 太田 正武
5期	昭和38年(1963) 62期	矢野 公威	倉田 敏一(寮長)
6期	昭和39年(1964) 63期	矢野 公威	手塚 幹幸(寮長) 大城 栄治
7期	昭和40年(1965) 64期	矢野 公威	郡須 保(寮長) 鈴木 南海雄
8期	昭和41年(1966) 65期	矢野 公威 田畑 祐吉	森永 輝秀(寮長) 任田 嘉政 赤嶺 義郎
9期	昭和42年(1967) 66期	田畑 祐吉	内村 隆一(寮長) 川野 善弘 高坂 正幸 瀬屋 忠利
10期	昭和43年(1968) 67期	橋本 紀二六	北野 喜美於(寮長) 小倉 克彦 陳 康華
11期	昭和44年(1969) 68期	橋本 紀二六	南 浩一(寮長) 高橋 源正 奥 壽之
12期	昭和45年(1970) 69期	橋本 紀二六 友部 隆教	石井 徳雄(寮長) 河合 憲一 渡部 俊秀 大塚 純一 田原 厚三
13期	昭和46年(1971) 70期	橋本 紀二六 友部 隆教	村田 憲俊(寮長) 渡辺 猛行 高畑 利道 岡本 繁 斎坂 広之
14期	昭和47年(1972) 71期	橋本 紀二六 友部 隆教 青山 信輝	友永 国夫(寮長) 小松 俊泰 川崎 茂樹 堀沢 敏一 竹田 正嗣 荒牧 正嗣
15期	昭和48年(1973) 72期	小倉 克彦 青山 信輝	渡辺 清勝(寮長) 山下 裕勝 鈴木 隆俊 平田 和夫 前田 康孝
16期	昭和49年(1974) 73期	小倉 克彦 青山 信輝	高橋 明雄(寮長) 佐々木 廣治 野倉 誠
17期	昭和50年(1975) 74期	小倉 克彦 吉田 繁廣 青山 信輝	菅家 健夫(寮長) 北島 雅巳 小南 洋之 坂田 吉正 野沢 達郎 山口 正志
18期	昭和51年(1976) 75期	小倉 克彦 吉田 繁廣 青山 信輝	亀井 清高(寮長) 三井 将史 渡辺 俊之 小林 龍次 阿部 泰久



第一期~第八期 矢野 公威
第九期~第十期 田畑 祐吉
第十一期~第十二期 橋本 紀二六
第十三期~第十四期 友部 隆教
第十五期~第十六期 小倉 克彦
第十七期~第十八期 吉田 繁廣
青山 信輝



文京キャンパス 新校舎



← 寮跡地は、練馬区の「旭町南地区区民館」

(5000円)